



IP-CAMERA

RCC-9800

取扱説明書



RITEK CORPORATION

<http://www.ritek.com>

<http://www.ridata.com>

国内販売代理店

Ri-JAPAN

アールアイジャパン株式会社

東京都文京区湯島3丁目21-5

<http://www.rijapan.co.jp>



●安全にお使いいただく為に（必ずお読み下さい）

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、以下の注意事項を必ずお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、大けがや死亡事故の原因となる恐れがあります。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、大けがや物的損害の原因となる恐れがあります。

⚠ 警告

-  本機を分解、改造、修理をしないでください。火災、感電、故障などの原因となります。
-  動作条件の範囲外で使用しないでください。火災、感電、故障などの原因となります。
-  正しい電源をご使用ください（AC100V 50/60Hz）。火災、感電、故障などの原因となります。
-  開口部やすき間から異物を入れないでください。また混入していた際は直ちにに取り除いてください。火災、感電、故障の原因となります。
-  水につけたり、水をかけたりしないでください。火災、感電、故障などの原因となります。
-  濡れた手での本体操作や電源プラグの抜き差しはしないでください。感電、故障などの原因となります。
-  使用中に煙が出ている、異臭がする等の異常がありましたら直ちに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。
-  雷が鳴り出したら本体に触れないでください。感電の原因となります。
-  電源コードを無理に曲げたり、重いものを上に載せたりしないでください。電源コードに傷がついたり断線したりすると火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

-  本機を以下のような場所で使用しないでください。
 - 暖房機器の近くなど温度が極端に高い場所
 - 湿気やほこりの多いところ
 - 振動が多い場所また不安定な場所
 - 油煙や湯気があたる場所
 - 直射日光が当たる場所
 - 強い磁気や電磁波が発生する機器の近く
 - 子どもや乳幼児の手の届く場所
-  お手入れの際は、シンナーやベンジンなど揮発性の化学物で本体を拭かないでください。
-  本機を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。故障などの原因となります。

●ワイヤレス（無線）製品について

RCC-9800は2.4GHz帯全域を使用する無線設備です。電波方式には、DS-SS方式及びOFDM方式を採用しています。

2.4GHz帯は、医療機器、Bluetooth対応機器などでも使用されています。

- ・本機を使用する前に、干渉範囲内に産業・化学・医療機器、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定小電力無線局が運用されていないか確認してください。
- ・万一、本機使用中に上記との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、本機の使用を停止してください。

警告



- ・本機を医療機関の中や医療機器（ペースメーカーや補聴器など）の近くで使用しないでください。本機の電波によりそれらに障害を及ぼす恐れがあります。
- ・本機を航空機内で使用しないでください。航空機内では電子機器や無線機器の利用が禁止されており、安全運航に支障をきたす恐れがあります。
- ・電子レンジの近くでの使用はおやめください。電磁波の影響により、無線通信が妨害される恐れがあります。

●ご利用上の注意事項

- ・本機接続の際、その他の無線機器の周辺、電子レンジなどの電磁波が発生する機器の周囲など電波の状況が悪い環境で使用した際、接続が途切れたりすることがあります。
- ・本機はすべての無線LAN機器との接続動作を確認したものではありません。
- ・無線機器によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩について、弊社は一切の責任を負いかねます。

〈RCC9800 ユーザーマニュアル〉

RCC 9800のご紹介	5
RCC 9800 各部の名称	5
RCC 9800クイックインストールガイド	6
1. カメラを接続します。	6
2. ソフトウェアをインストールします。	6
3. IDとパスワードを入力するとライブ映像が視聴できます。	7
RCC 9800の詳細設定 (Web設定)	
1. 設定情報表示	8
2. ネットワーク	
① 有線接続	8
② WiFi 設定	9
③ 高度なネットワーク設定	9
3. 映像	
① 映像表示	10
② 映像設定	10
③ 3G対応のスマートフォンで見る場合の設定	10
4. スケジュール	
① Email/アラーム 通知	11
② DI/DO 設定	11
③ NAS 設定	11
④ SD Card 設定	12
⑤ スケジュール 設定	12
5. 管理	
① 管理者設定	12
② LED制御設定	12
③ 日時設定	13
④ ファームウェアのアップデート	13
⑤再起動	13

〈CamView ユーザーマニュアル〉

CamViewのご紹介	14
動作環境	14
CamViewの起動とレイアウト	
1. CamViewプログラムのインストール	14
2. CamViewの起動	14
3. CamViewのレイアウト	15・16
CamViewでのカメラ管理	
1. 新しいカメラの登録	17
2. 新規フォルダ作成	17
3. フォルダ名の変更	18
4. フォルダの削除	18

5. カメラリストのリフレッシュ	18
6. カメラの調整	18
7. 選択した表示エリアで再生	19
8. ID/パスワードの設定	19
9. ビデオの設定	19・20
10. 3GPPの設定	21
11. SD カード PlayBack	21
12. NAS Play Back	21
13. ファームウェアのアップグレード	21
14. カメラの削除	21

表示されている映像のコントロール

1. 右クリックのメニュー	22
2. スナップショットと録画	22
3. オートサーチ	23
4. カメラステータスインジケータ	23
5. パン/チルト コントローラー	24

CamView の機能メニュー

1. 設定	24・25
2. Cam Playの起動	25
3. スケジュール（予約）	26
4. 言語の選択	26
5. 一括操作	27
6. 分割画面選択	27

〈CamPlay ユーザーマニュアル〉

CamPlayのご紹介・動作環境

CamPlayの起動とレイアウト

1. CamPlayの起動	29
2. CamPlayのレイアウト	29・30

CamPlayの操作

1. パソコンに録画されたビデオを見る	31
2. NASに録画されたビデオを見る	31
3. パソコンに保存されたスナップショットを見る	32
4. 録画されたビデオをAVIに変換する	32

〈スマートフォン操作マニュアル〉

Androidスマートフォン/タブレットで映像を見る

1. “mCamView”のインストールと操作方法	33・34
---------------------------	-------

iPhoneで映像を見る

1. “mCamView”のインストールと操作方法	34・35・36
---------------------------	----------

〈RCC9800 製品仕様〉〈製品保証書〉

このたびはネットワークカメラ RCC-9800 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に説明書をよくお読みになり、カメラのライブ映像をお楽しみください。

〈RCC 9800 ユーザーマニュアル〉

RCC 9800のご紹介

RCC 9800は 接続したらそのまま使える “Plug & Play” の採用で、複雑な設定をしなくてもカメラ管理ソフト“CamView”に、IDとパスワードを入力するだけで、離れた場所のライブ映像を見ることが出来るネットワークカメラです。

パソコンだけでなく、3G対応スマートフォンでも、カメラを操作したり、ライブ映像を見ることが可能です。

RCC 9800は、“P2Pネットワーク方式”を採用しているため、サーバ維持費がかかりません。

有線での接続だけでなく、ワイヤレス接続にも対応しています。

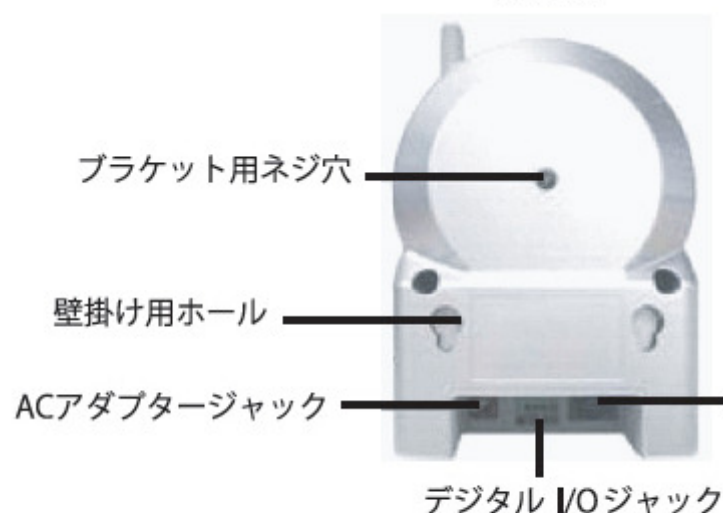
また、広範囲が撮影できるパン/チルト機能・スケジュール設定機能・映像の変化を検知すると、アラーム通知や画像をE-mail送信する設定が出来る動体検知機能など、多彩な機能を搭載しています。

RCC 9800 各部の名称

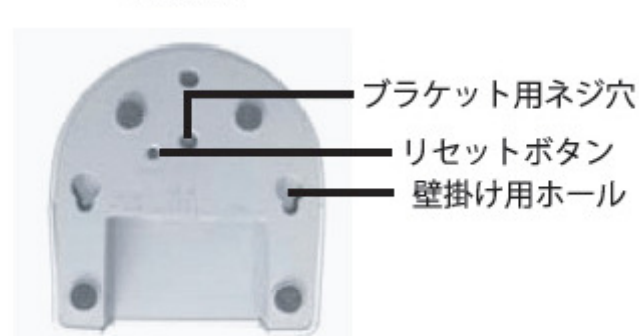
【正面】



【裏面】



【底面】



RCC 9800 クイックインストールガイド

3つのステップで簡単にライブ映像が視聴できます。

- 1: カメラを接続します。
- 2: パソコンに ソフトウェアをインストールします。
- 3: IDとパスワードを入力するとライブ映像が視聴できます。

1. カメラを接続します。



①ACアダプターとLANケーブルを正しく接続してください。接続するとRCC9800は、自動的にIPアドレスを取得します。

②カメラのステータス表示LEDをチェックして下さい。赤色が点灯していれば正しく接続されています。赤色が点滅していればインターネット接続に問題があります。接続を再度確認してください。

※社内 LAN 等で固定 IP アドレスを使用している場合は、ネットワークカメラも IP アドレスを使用してください。(8 ページ [2. ネットワーク①有線網路] を参照してください。)

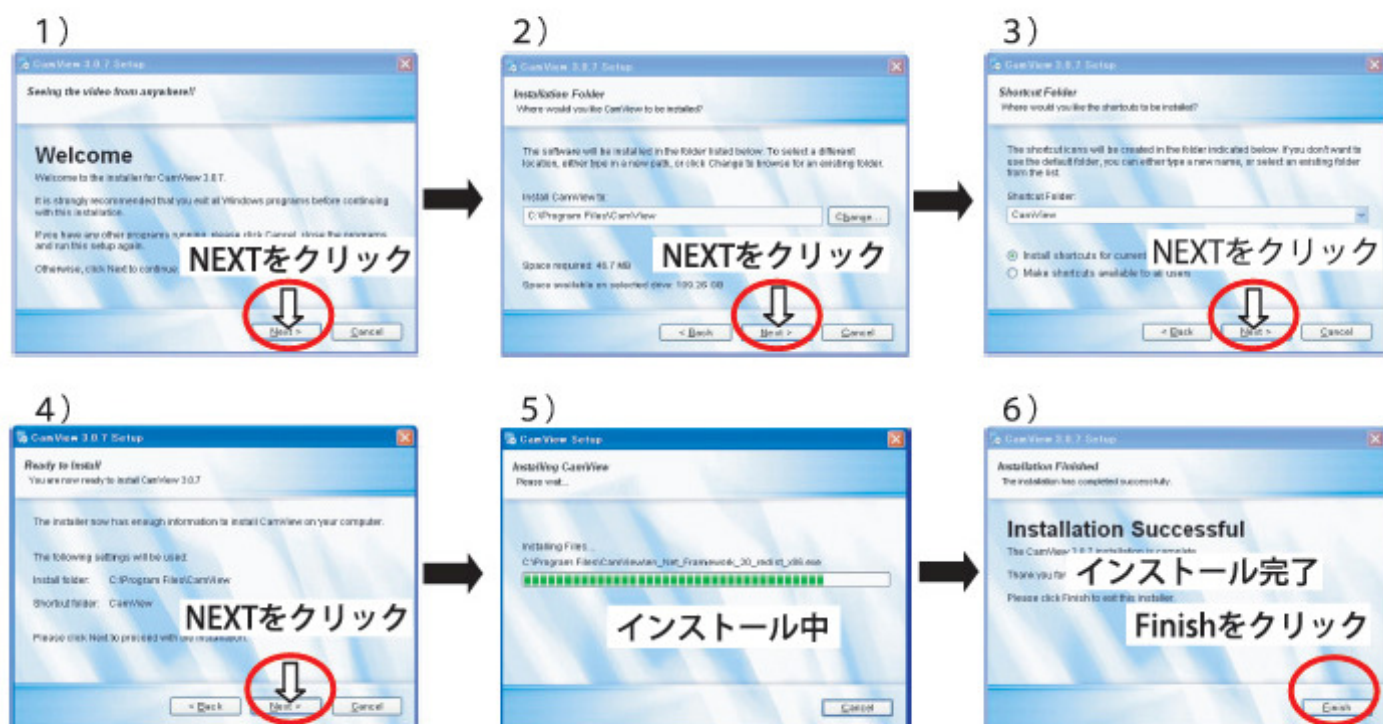
2. ソフトウェアをインストールします。

①パソコンに“CamView”をインストールする前に、RCC9800が正しく接続されてれていることを確認して下さい。

※起動しているアプリケーションをすべて終了します。他のアプリケーションが実行中の場合、プログラムが正しくインストールできない場合があります。

②CD-ROMドライブに付属のインストールCDを挿入し、ディスク上のプログラム“CamViewInstaller-No.NET_v3.0.7.exe” をダブルクリックし実行します。

③下記の手順に従ってインストールしてください。



3. IDとパスワードを入力するとライブ映像が視聴できます。

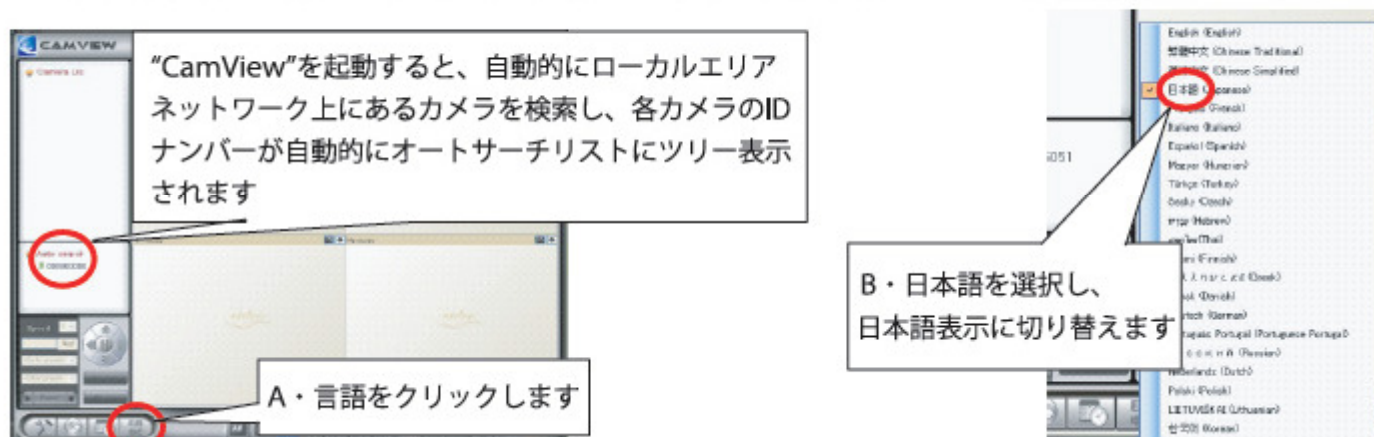
①“CamView” を下記のいずれかの方法で起動します。

スタートメニュー → すべてのプログラム → CamViewフォルダ → CamViewをクリックします。

または、デスクトップ上のショートカット  をダブルクリックします。

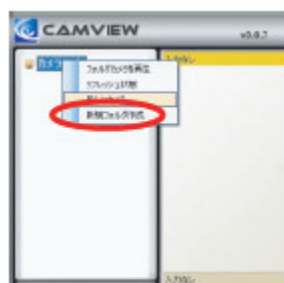
CamView

※“CamView” を日本語表示にするため、下図 A・B の手順で表示を切り替えます。



②カメラの映像を見る

カメラリストを右クリックし新しいカメラをクリックします。

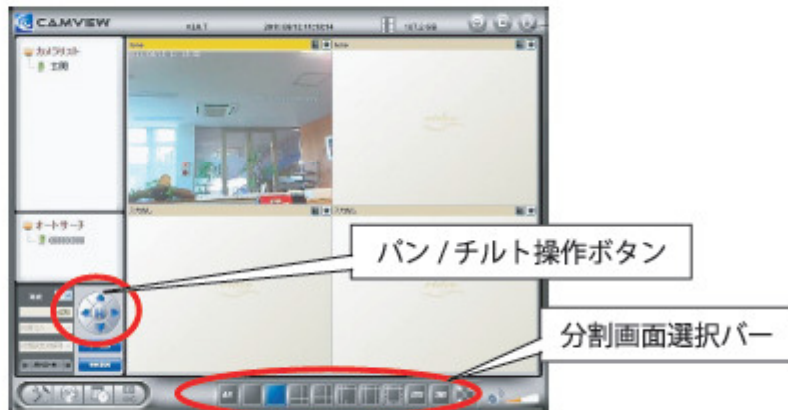
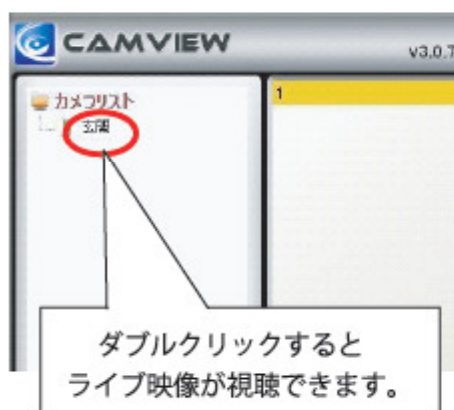


表示された画面に名前・CamID・パスワードを入力します。

(“名前”=好きな名前を付けられます)

(CamID は以下 ID とします。)

カメラが登録されます。

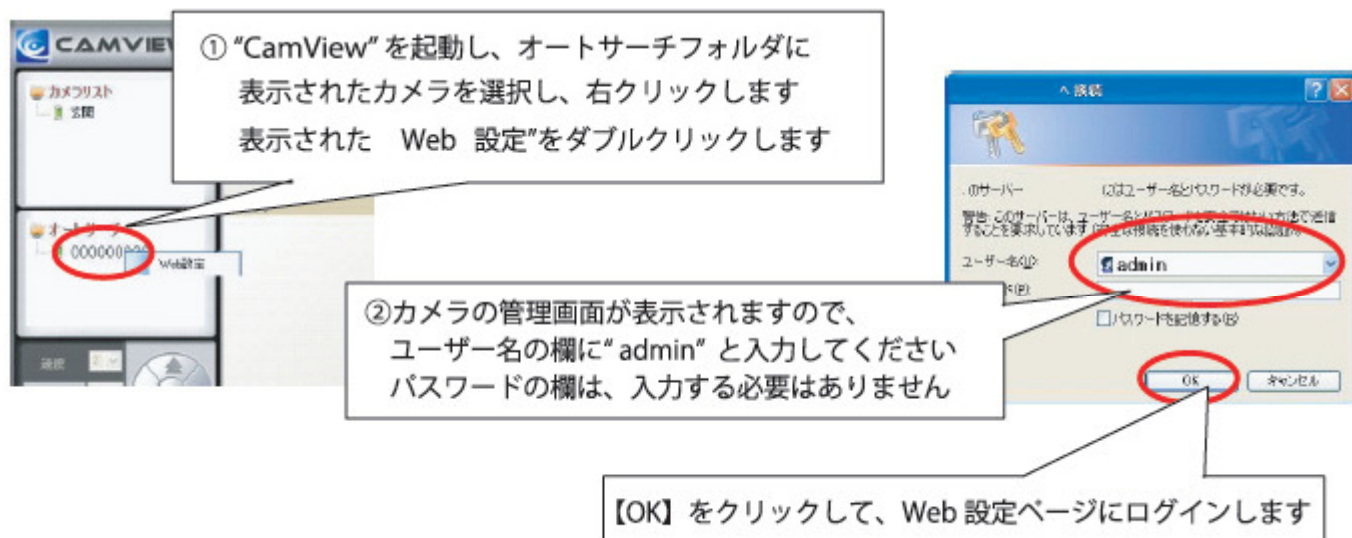


※参照したいカメラが、ローカルエリアネットワーク上にない場合や、ID が保存されていない場合は、“カメラリスト” を右クリックして参照したいカメラを選択して、ID とパスワードを再入力してください。

RCC 9800 の詳細設定 (Web 設定)

RCC 9800 の各種機能設定ができます。

“CamView” から Web 設定ページにログインし、詳細な設定を行うことができます。



1. 設定情報



現在の設定内容が表示されます。

2. ネットワーク

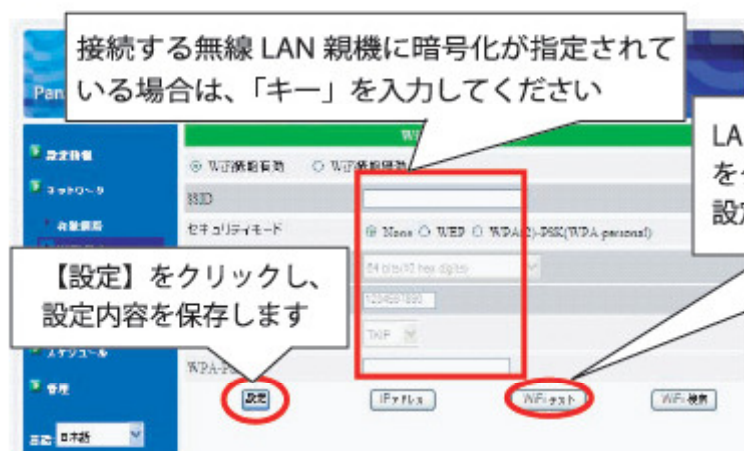
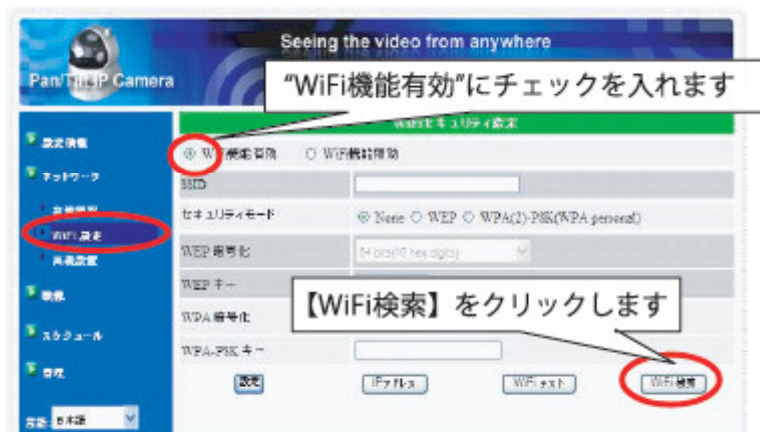
①有線ネットワーク：有線でネットワークに接続します。



デフォルトの設定は、
“IPアドレスを自動的に取得する”
“DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する”
になっています。
通常は、変更する必要はありません。

注) 社内 LAN 等で固定 IP アドレスを使用している場合は、ネットワークカメラも固定 IP アドレスを使用してください。
“次の IP アドレスを使う” にチェックを入れて、IP アドレスを設定してください。

②WiFi 設定：WiFiの接続設定をします。（動作環境は、製品仕様を参照してください。）

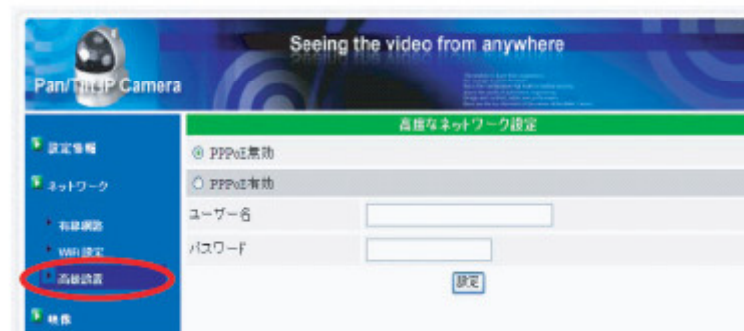


LAN ケーブルを外し、【WiFi】テストをクリックして接続を確認します
設定情報をチェックできます

【WiFi】テストをクリックして、約 15 秒後に結果が表示されます。テストに失敗した場合は、設定内容を再度確認してください。

※LAN ケーブルがカメラに接続されていると、WiFi 機能が使用できません。

③高級設定：高度なネットワーク設定



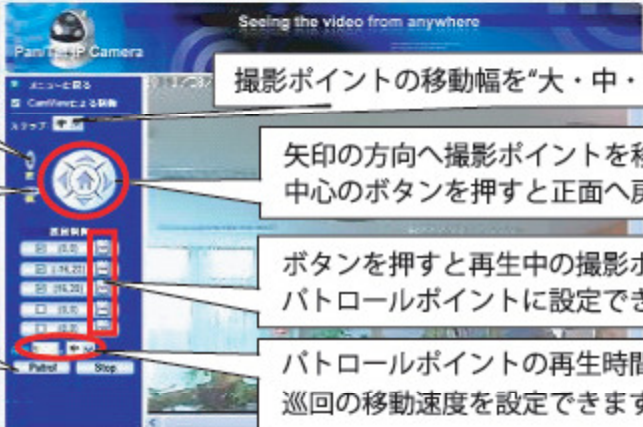
デフォルトの設定は、“PPPoEを無効にする”になっています。
通常は、変更しません。

メモ

*PPPoE (Point-point protocol over Ethernet)
DSLやCATV、FTTH等でのインターネット接続サービスでのブリッジ接続用に利用されている

3. 映像

①映像表示：カメラ映像の再生が出来ます。



撮影ポイントを上下方向へ最大幅で移動します

撮影ポイントを左右方向へ最大幅で移動します

設定したパトロールポイントを自動的に巡回します

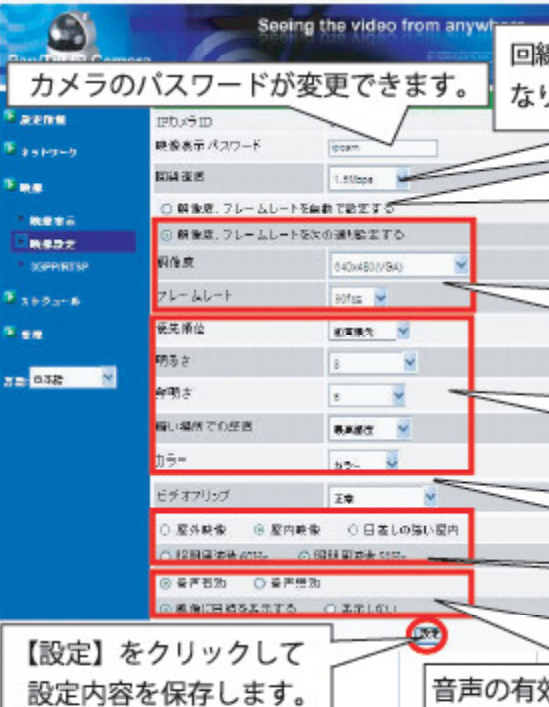
撮影ポイントの移動幅を“大・中・小”から選択できます

矢印の方向へ撮影ポイントを移動できます
中心のボタンを押すと正面へ戻ります

ボタンを押すと再生中の撮影ポイントをパトロールポイントに設定できます

パトロールポイントの再生時間と巡回の移動速度を設定できます

②映像設定：必要に応じてカメラの設定を変更できます。



カメラのパスワードを変更できます。

回線速度が変更できます。数値が大きいほど画像が鮮明になりますが、コマ送りが遅くなります

デフォルトの設定は、“解像度、フレームレートを自動で設定する”です。自動で最適な解像度、フレームレートを設定します。通常は、変更しません

解像度、フレームレートを変更する場合は、こちらを選択し各リストボックスで解像度、フレームレートを選択します

優先順位・明るさ・鮮明さ・暗い場所での感度・カラーが各リストボックスで、変更できます

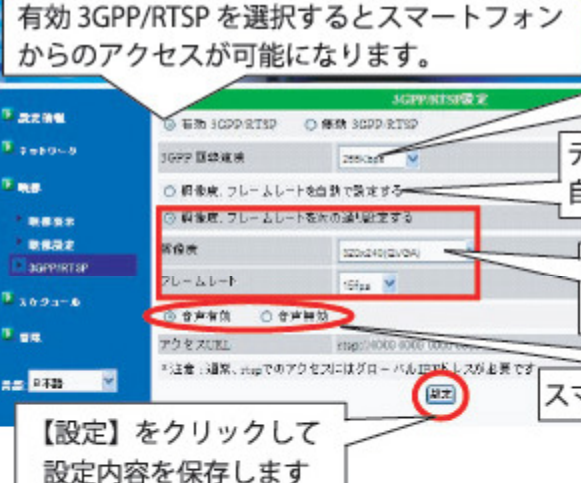
カメラを上下逆さに設置するときは、【フリップ】を選択して下さい

カメラの設置状況に合ったチェックボックスを選択してください

【設定】をクリックして設定内容を保存します。

音声の有効/無効・日時の表示/非表示をチェックボックスで選択してください

③3GPP/RTSP：3G対応のスマートフォンで見る場合の設定をします。



有効 3GPP/RTSP を選択するとスマートフォンからのアクセスが可能になります。

回線速度が変更できます。数値が大きいほど画像が鮮明になりますが、コマ送りが遅くなります

デフォルトの設定は、“解像度、フレームレートを自動で設定する”自動で最適な解像度、フレームレートを設定します

解像度、フレームレートを変更する場合は、こちらを選択し、各リストボックスで解像度、フレームレートを選択します

スマートフォンの、音声を聞くことは出来ません

【設定】をクリックして設定内容を保存します

4. スケジュール

①Email/アラーム：メールやファイル転送でアラームを通知することができます。

動体検知を選択した場合に
検知する精度をリストボックス
から選択します

アラームの通知方法を4つから選択します
“動体検知”：映像の変化を感知するとアラームを通知します
“DI”：接続したデジタル機器の信号で録画を開始または停止
します。“スケジュール”：設定したスケジュールで録画を
開始または停止します。“無効”：録画機能を無効にします

アラームの通知先を選択します

メールの送信先を入力します

FTPサーバーの通知先を入力します

アラーム通知のテスト送信が出来ます

【設定】をクリックして
設定内容を保存します

②DI/DO 設定：デジタルI/Oジャックに接続したデジタル機器の信号で、アラーム通知機能をコントロールします。

デジタル入出力は、回路の“開閉”どちらかを正常な状態として設定できます

デジタル出力のアラーム起動モードを選択します。
“動体検知”・“DI”・“スケジュール”・“アクティブ”・“正常”の
5つから選択します

【設定】をクリックして、接続設定を保存します

③NAS 設定：ネットワークに接続された“NAS(ネットワーク対応HDD)”に録画する詳細を設定します。

④SD Card 設定：カメラ本体にセットした“microSDカード”に録画する詳細を設定します。

“microSDカード”の状態が表示されます

録画モードを選択します
“常時録画・スケジュール録画・録画不可”の3つから選択します

“循環録画”：古いファイルから上書きして録画します
“録画停止”：録画を停止します

【設定】をクリックして、設定内容を保存します

※ 8GB の microSDHC に録画できる時間は、約 46 時間です。

注) 解像度 640×480・回線速度 512K の場合で約 2.85MB/分。解像度を低い設定にすれば、記録時間は長時間になります。回線速度が速い場合は、時間は短くなります。

⑤スケジュール：スケジュール録画の設定が出来ます。

アラームの設定状況・外部録画の設定状況が設定されています

“毎週”：曜日の指定と時間指定が出来ます
“毎日”：時間の指定が出来ます
“定刻”：録画を開始する時刻と終了する時刻が指定できます

スケジュール追加をクリックして、設定を有効にします

5. 管理

①管理者設定：Web設定のID/パスワードが変更できます。

デフォルトの設定は、ユーザー名は“admin”
パスワードは空白になっています

※重要
ユーザー名やパスワードを変更する場合は、新しく変更したユーザー名・パスワードを必ずメモなどで保管して下さい。
お忘れになると、Web 設定へのログインができなくなります

②LED制御：LEDの点灯設定が“ノーマル表示/LED表示OFF/ネットワーク接続後LED表示OFF”の3つから選べます。

③日時：タイムゾーンを設定することにより、自動で日時設定が出来ます。

カメラを設置した地域をリストボックスから選択します

サマータイムを有効にするときに、設定します

【設定】をクリックして、接続設定を保存します

④アップデート：ファームウェアのバージョンアップ情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

⑤再起動：ボタンを押すと本体を再起動します。

システム再起動

ボタンを押すと本体を再起動します

再起動